



2023年4月期 第1四半期 決算補足説明資料

2022年9月13日

株式会社トーエル

証券コード：3361

2023年4月期 第1四半期 決算概要

2023年4月期 第1四半期 サマリー

実績 (前年同期比)

売上高はLPガス輸入価格高騰に伴う販売価格上昇により、エネルギー事業の売上が大幅に伸びたことで増収

売上高	6,610百万円(前年同期比 +23.5%)
営業利益	387百万円(前年同期比 +7.6%)

通期業績予想 (2023年4月期)

通期業績予想 (2022年6月13日公表) は変更なし

売上高	27,430百万円(前期比 +5.8%)
営業利益	2,000百万円(前期比 +18.4%)

連結損益計算書

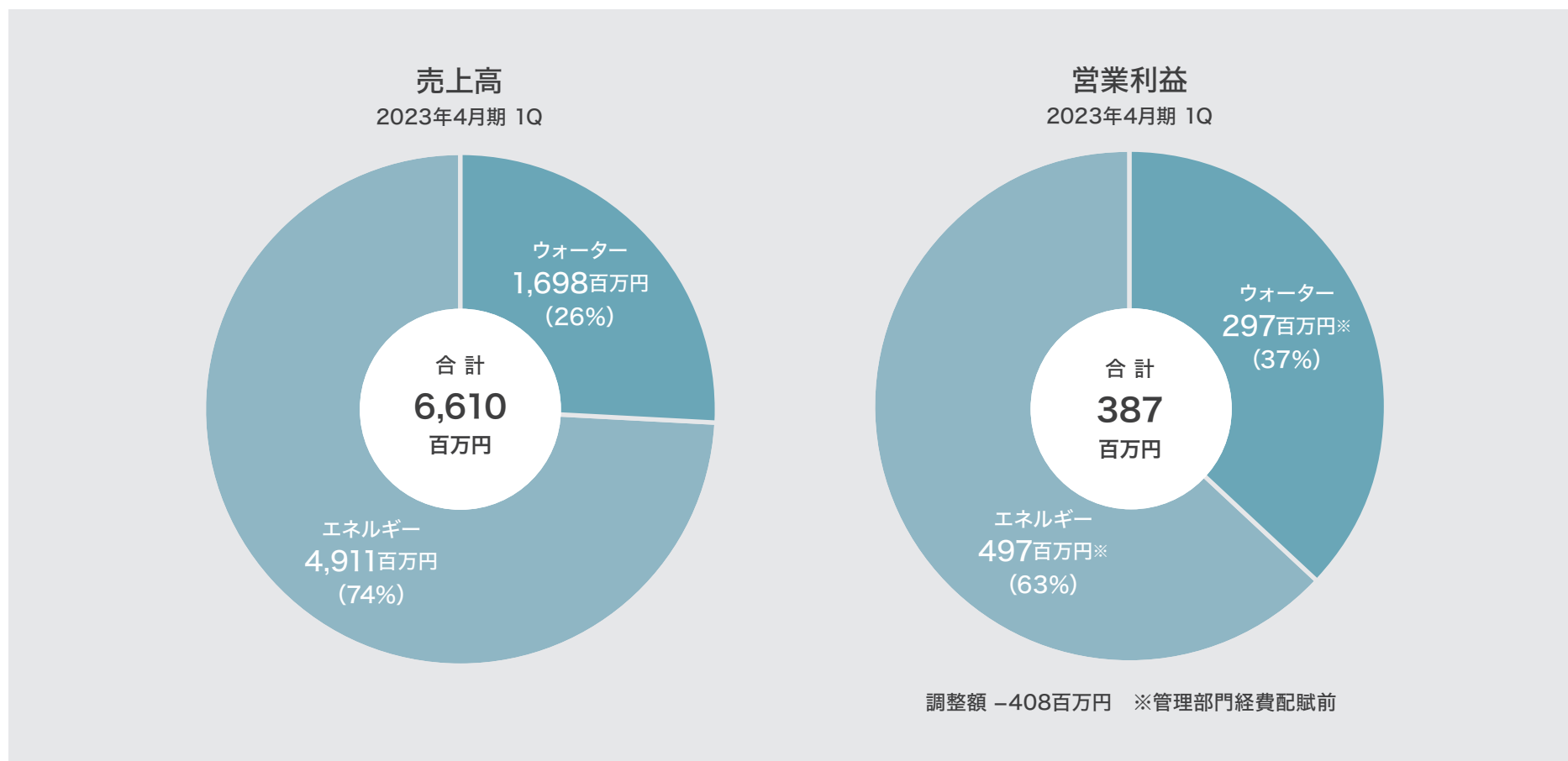
(単位:百万円)

	2022年4月期 1Q(実績)	2023年4月期 1Q(実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	5,354	6,610	+1,256	+23.5%
売上原価	2,863	4,054	+1,190	+41.6%
売上総利益	2,490	2,556	+65	+2.6%
売上総利益率(%)	46.5	38.7	-7.8pt	
販売費及び一般管理費	2,130	2,169	+38	+1.8%
営業利益	360	387	+27	+7.6%
営業利益率(%)	6.7	5.9	-0.8pt	
経常利益	413	516	+102	+24.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	345	+97	+39.2%
1株当たり四半期純利益(円)	12.49	16.96	+4.47	+35.8%

売上高と営業利益（セグメント別構成比）

■売上高構成比：エネルギー事業74%（前1Q比+5%）、ウォーター事業26%（前1Q比-5%）

■営業利益構成比：エネルギー事業63%（前1Q比+3%）、ウォーター事業37%（前1Q比-3%）



連結貸借対照表

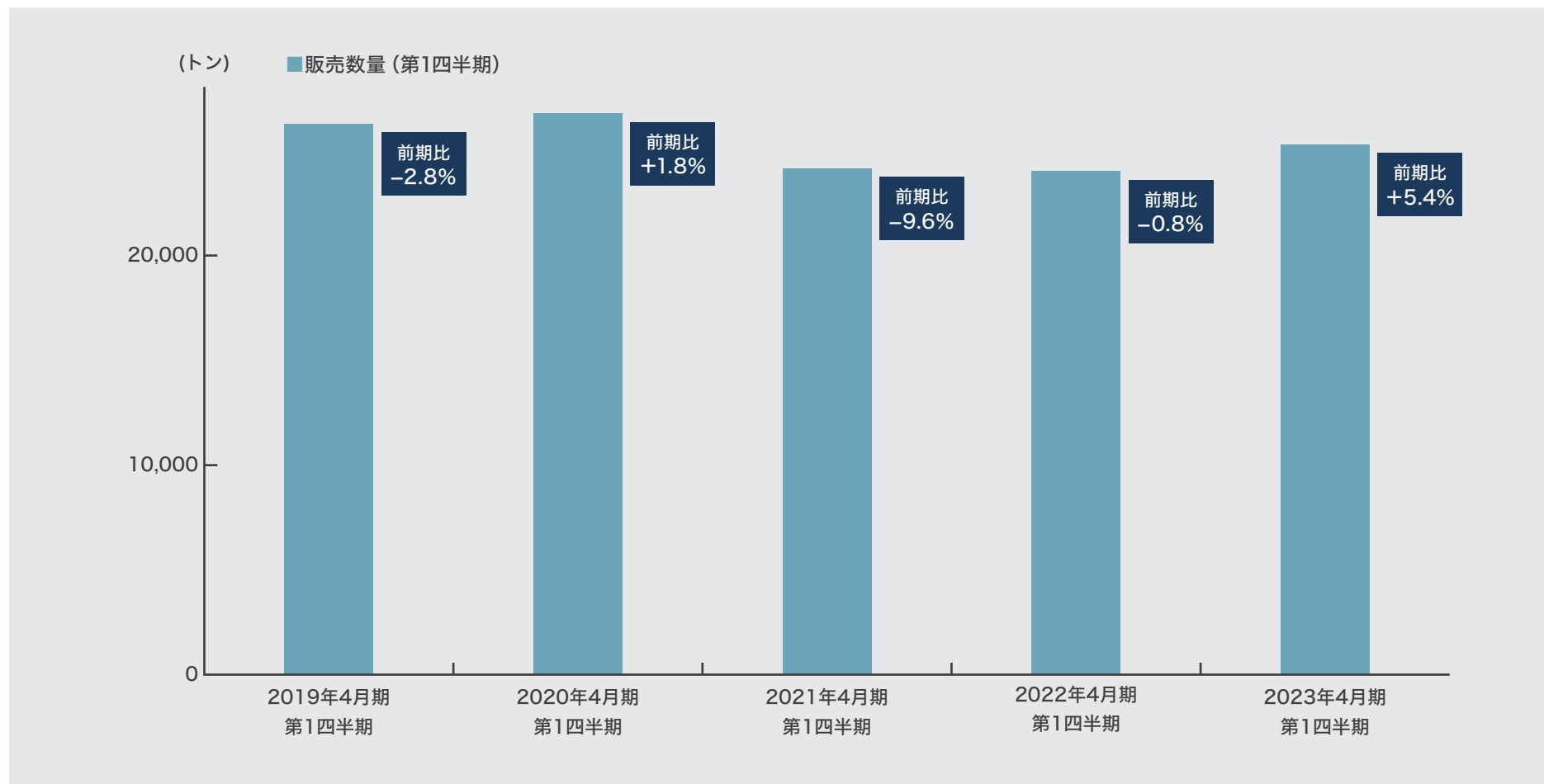
(単位:百万円)

	2022年4月末	2022年7月末	増減	内 容
流動資産合計	11,695	10,207	-1,488	現金及び預金 -948 受取手形及び売掛金 -768
固定資産合計	15,280	15,507	+227	建物及び構築物 +626
有形固定資産	13,282	13,560	+278	建設仮勘定 -349
無形固定資産	400	403	+3	
投資その他の資産	1,598	1,543	-54	
資産合計	26,976	25,715	-1,261	
流動負債合計	5,930	5,027	-902	買掛金 -505 未払法人税等 -424
固定負債合計	2,881	2,749	-131	長期借入金 -110
負債合計	8,811	7,777	-1,034	
株主資本合計	17,818	17,502	-316	自己株式 -253
その他の包括利益累計額合計	339	429	+89	
非支配株主持分	6	6	+0	
純資産合計	18,164	17,938	-226	
負債純資産合計	26,976	25,715	-1,261	
流動比率(%)	197.2	203.0	+5.8pt	
自己資本比率(%)	67.3	69.7	+2.4pt	

セグメント別業績

エネルギー事業／LPガス販売数量

■新型コロナウイルス感染症の影響は続いているものの、新規顧客の獲得及び業務用需要の回復により販売数量は増加



エネルギー事業／売上高及び営業利益

■売上高：LPガス輸入価格の高値推移に伴い販売価格が上昇したこと、販売数量も増加したことで増収

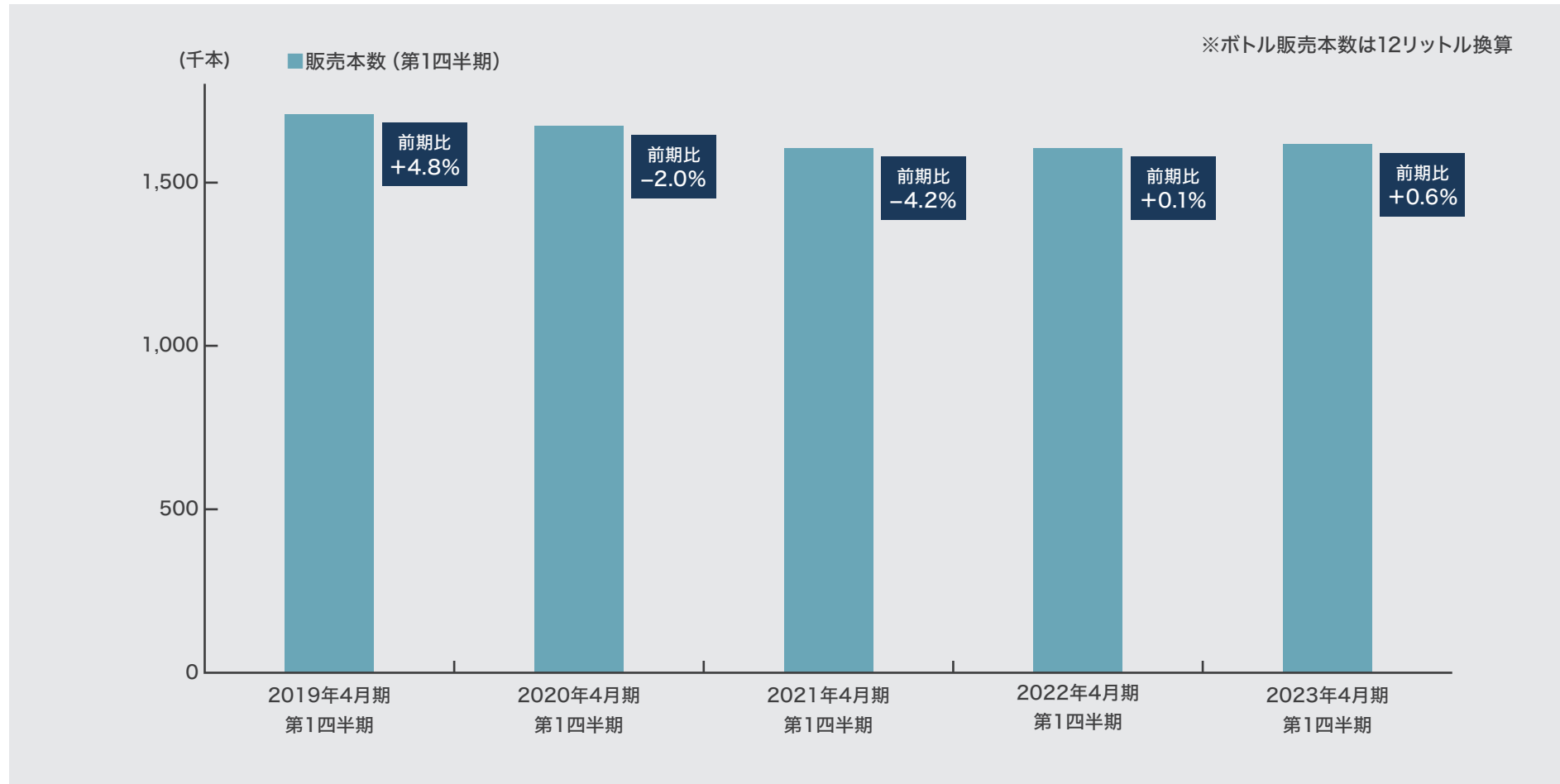
■営業利益：売上高の増加に伴い増益

(単位：百万円)

	2022年4月期 1Q(実績)	2023年4月期 1Q(実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,690	4,911	+1,221	+33.1%
営業利益(管理部門経費配賦前)	458	497	+38	+8.5%
営業利益率(%)	12.4	10.1	-2.3pt	

ウォーター事業／ボトル販売本数

■新型コロナウイルス感染症の影響は継続しているものの、販売本数は徐々に回復



ウォーター事業／売上高及び営業利益

■売上高：販売本数が徐々に回復し増収

■営業利益：円安による輸入コスト増加が影響し減益

(単位：百万円)

	2022年4月期 1Q(実績)	2023年4月期 1Q(実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,664	1,698	+34	+2.1%
営業利益(管理部門経費配賦前)	300	297	-3	-1.1%
営業利益率(%)	18.1	17.5	-0.6pt	

2023年4月期 連結業績予想

2023年4月期 連結業績予想【6/13公表・変更なし】

(単位:百万円)

	2022年4月期 (実績)	2023年4月期 (計画)	前 期 比
売上高	25,921	27,430	+5.8%
売上総利益	10,174	10,620	+4.4%
売上総利益率(%)	39.3	38.7	-0.6pt
営業利益	1,688	2,000	+18.5%
営業利益率(%)	6.5	7.3	+0.8pt
経常利益	2,175	2,180	+0.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,058	1,390	+31.4%
1株当たり当期純利益(円)	52.22	67.91	+30.1%
ROE(%)	6.0	7.4	+1.4pt

■前提:LPガス輸入価格 755ドル/トン 為替レート 123円/ドル

2023年4月期 セグメント別計画【6/13公表・変更なし】

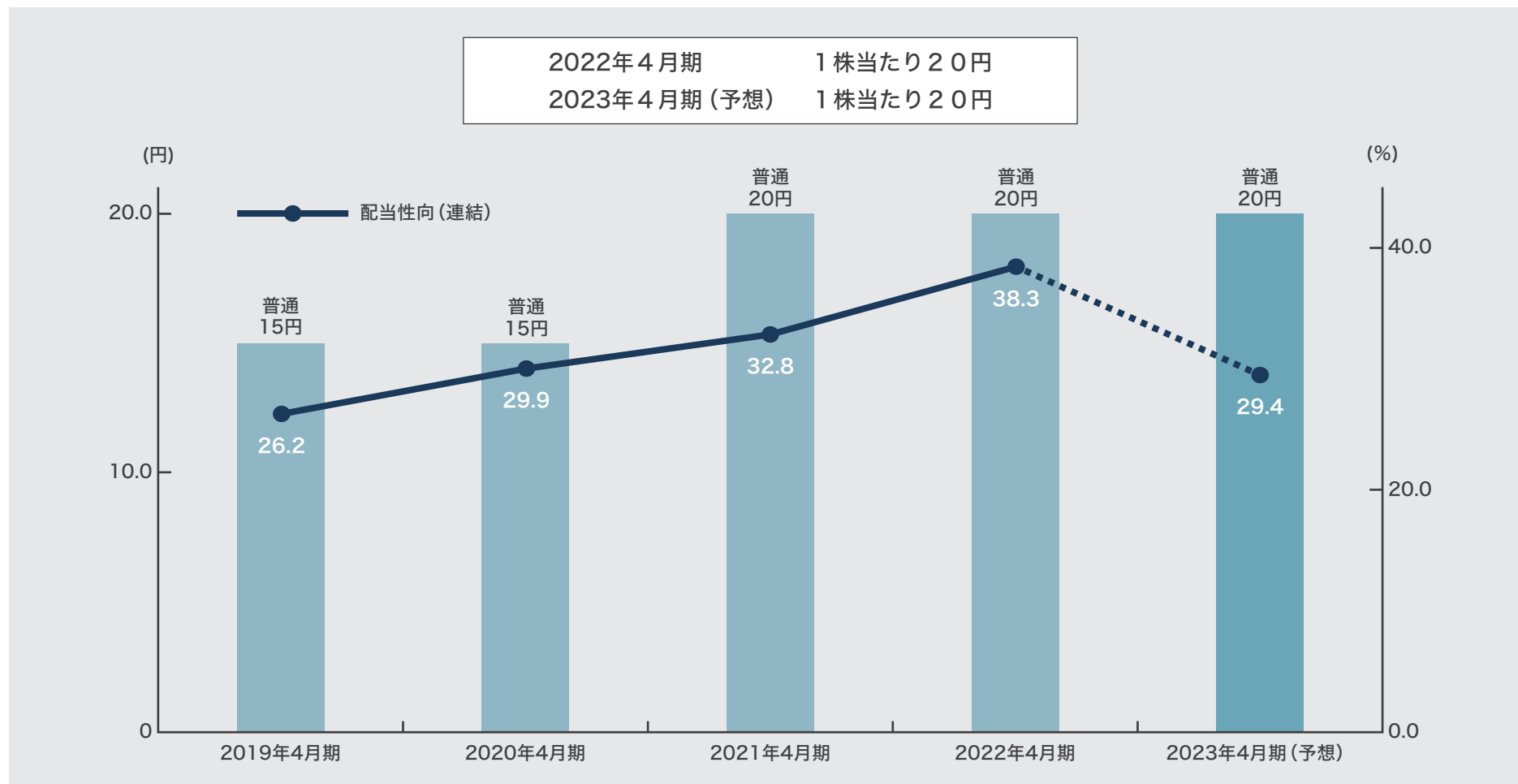
(単位:百万円)

	2022年4月期 (実績)	2023年4月期 (計画)	前 期 比
売上高	25,921	27,430	+5.8%
エネルギー事業	19,453	20,890	+7.4%
ウォーター事業	6,468	6,540	+1.1%
営業利益	1,688	2,000	+18.4%
エネルギー事業	2,258	2,456	+8.8%
ウォーター事業	1,070	1,238	+15.6%
管理部門経費	-1,639	-1,694	+3.3%
経常利益	2,175	2,180	+0.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,058	1,390	+31.3%
LPガス販売数量(トン)	114,198	114,500	+0.3%
ウォーター販売本数(千本)	6,230	6,370	+2.2%

■前提: LPガス輸入価格 755ドル/トン 為替レート 123円/ドル ■ウォーター販売本数は12リットル換算

2023年4月期 配当予想

■業績並びに将来の事業展開にも備えつつ、安定的な配当を実施



計画達成に向けたトーエルの取組み

🔥💧 エネルギー事業とウォーター事業 共通の重点取組み

- 【ライフラインパッケージ拡販強化】
 - LPガス・ウォーター・電気・通信のパッケージ販売により、既存のお客さまとの取引拡大及び新規開拓
 - お客さまの「暮らし」に寄り添う企業として強固な事業基盤を構築
- 【自社配送を強みとする物流戦略】
 - 事業エリア内の供給密度を高め、物流コスト競争力を強化
 - 独自の配送システム構築により配送の合理化を推進
 - 自社配送の利点を生かしたお客さまとのリレーションシップ強化

🔥 エネルギー事業の重点取組み

【適正価格での販売】

- 公正な判断に基づく、適正且つ安価な価格公表（ホームページにて掲載）により、事業基盤の拡大と利益確保への取組みを強化

【バルク事業の推進】

- バルク工場のワンストップ体制を強みに、関東圏のバルク貯槽入替需要の取り込みを推進

【差別化戦略】

- 災害時に強いLPガスの利点を生かしたLPガス設備の営業強化
- 高級イチゴの生産販売推進

【LPガス生産体制】

- 厚木工場の生産体制強化と、中核充填所としての災害時対応強化
- 茨城工場の充填機増設により生産体制強化（予定）

💧 ウォーター事業の重点取組み

【差別化戦略】

- 「高品質な天然の原水」に拘ったピュアウォーターと天然水
- リターナブル、ワンウェイ、ミニペットボトルの多様なボトルラインアップ
- 高濃度水素水サーバーの製品優位性による差別化及びシェア拡大と異業種分野の開拓

【広告・インターネットの活用によるお客さま開拓推進】

- 多種多様な広告媒体の活用
- インターネットによる受注拡大

【海外展開】

- 信濃湧水の販路開拓と既存輸出先のシェア拡大

【ウォーター生産体制】

- ハワイ工場「Oahu Factory」の拡張による生産物流体制強化
- 大町第4工場準備中

2023年4月期 第1四半期 トピックス

トピックス① 新拠点「営業本部ビル」開設

LPガス、ウォーターの営業部門集約により営業体制強化



トピックス② ピュアハワイアン販売促進

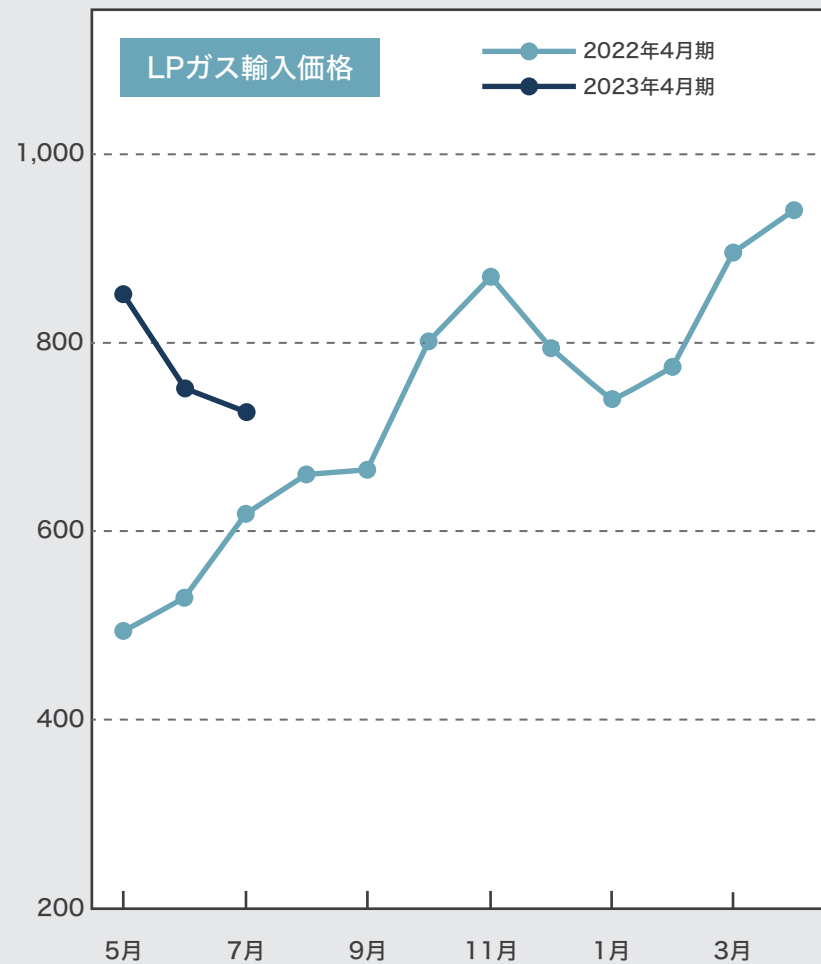
複数の大手航空会社ハワイ便機内用飲料水として販売 更なる認知拡大を推進



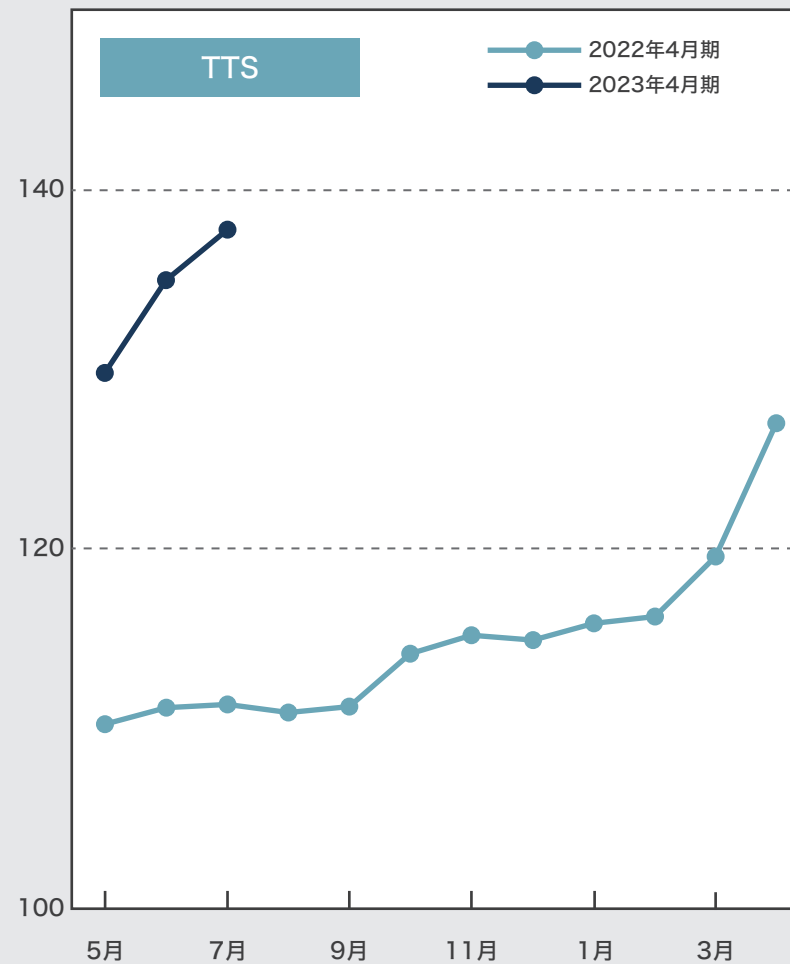
ご参考

LPガス輸入価格・TTS推移

(ドル/トン)



(円/ドル)



当資料に関して

当資料に記された当社の計画・見通し・戦略等のうち、過去の事実でないものは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいた将来の業績に対する見通しです。実際の業績は様々な要因により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定要因には以下のものが含まれます。

- ①当社グループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②原油価格と連動性が強いLPガスの仕入価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象等

但し、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料はあくまで株式会社トーエルをより深く理解していただくためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

当資料に関する問い合わせ先

取締役 管理本部長 笹山和則
〒223-8510 横浜市港北区高田西一丁目5番21号
TEL (045) 592-7777 FAX (045) 593-3259
<https://www.toell.co.jp>